

明けまして

おめでどうござります



「おけましておめでどう御座ります。」

今年こそはと張切らぬ正月です。が外に目を向けてみますと世界的な経済不況や日米貿易摩擦の行方又国内的には充足したばかりの中曾根内閣の多難な歩み。そうたやすく短期間に好転しそうにない不況など今年も身心を引締めて対処せねばならぬ年になりそうです。

また私達の公民館ですが最近都会から帰られた人が

公民館を御覧にはり。後日、便りをいただきました。利用者の数の多いことと、使

用目的が非常に多岐多用に亘つてゐることを感じた。益々の発展を望む」とありました。

今年も皆さん充分御利用をいただき公民館をよりよばしと明る。大代の町づくりに取組んでいただきます様、年頭に当りまして御願ひ申し上げます。

謹んで新年のおまじびを申し上げます。

(町内若団体 官公庁 クロハ順)

防犯連絡所 市教育委員

自若会連合会 小中学校

PTA 社会福祉協議会

PTA 市人権擁護委員

PTA 少年輔導委員

農協 婦人会 公民館

PTA 選挙委員会

青年団 民生委員

郵便局 児童委員

今年が亥年

◆新年を迎えよ

小生六年 角 恭子

去年私は、すごくがんばつてきました。

まず、発表がのびました。

私はまだ奉仕の面などは、もうケレレのぼりたりです。

今年も奉仕や勉強や遊びが、がんばつていきたいと思います。

そして、みんなとなかよくしたいです。

今年はいのれれ年です。私の年です。今年にはにはります。今年も六年生に起きます。全校をひっぱつていけるようにがんばりたいです。全校の中にも一番がんばる勉強もしたいと思つています。

商店会 信用金庫

青年団

民生委員

児童委員

今年が亥年

◆新年を迎えよ

小生六年 角 恭子

去年私は、すごくがんばつてきました。

まず、発表がのびました。

私はまだ奉仕の面などは、もうケレレのぼりたりです。

今年も奉仕や勉強や遊びが、がんばつていきたいと思います。

そして、みんなとなかよくしたいです。

今年はいのれれ年です。私の年です。今年にはにはります。今年も六年生に起きます。全校をひっぱつていけるようにがんばりたいです。全校の中にも一番がんばる勉強もしたいと思つています。

◆上市 逆田郡三

私も三回目の亥年を迎えました。人生の半分の終ったような気がして淋しさと、みせりを感じております。

三十大才と云えば、男として一番充実してゐる年代ではないかと思つます。これからの三十大年間を振り返つて見れば、果たしてこの生方が良かったのかと不安に陥ります。

残り半分の人生を悔いのないように思いやり生きたいと思つます。

◆下市 坂井 菅子

新しい年を迎えますと何となく今年こそはという希望がわいてきます。

特に今年には私にとつて四回目の亥年です。偶然にも大代町に嫁りてきたのが亥年でした。それから二十四年の子育ちやお店の事に在

りてきました。

今年はいのれれ年です。私の年です。今年にはにはります。今年も六年生に起きます。全校をひっぱつていけるようにがんばりたいです。全校の中にも一番がんばる勉強もしたいと思つています。

今年はいのれれ年です。私の年です。今年にはにはります。今年も六年生に起きます。全校をひっぱつていけるようにがんばりたいです。全校の中にも一番がんばる勉強もしたいと思つています。

今年はいのれれ年です。私の年です。今年にはにはります。今年も六年生に起きます。全校をひっぱつていけるようにがんばりたいです。全校の中にも一番がんばる勉強もしたいと思つています。

今年はいのれれ年です。私の年です。今年にはにはります。今年も六年生に起きます。全校をひっぱつていけるようにがんばりたいです。全校の中にも一番がんばる勉強もしたいと思つています。

今年はいのれれ年です。私の年です。今年にはにはります。今年も六年生に起きます。全校をひっぱつていけるようにがんばりたいです。全校の中にも一番がんばる勉強もしたいと思つています。

わかれ、自分を省みる事もなく過した。今年こそは家業、家族の事はもちろんですが、自分自身のためにも充実した年であり、公民館、婦人会活動に時間的許すかぎり、積極的に参加し有意義にすごしたいと思ふ。

◆ 上市 横田増弘

新年を迎え、私にとつては還暦の年と云うわけだ。昔から還暦は本卦帰りと云う。二十千十二支の暦が六十一年目に元に戻るから、また新しく一十から出発すると考へて、赤色のちんちん、すまん、それに赤色の座布団を贈る習慣がありました。最近では、みな長生まにほり、六十才の還暦、七十才の古希の言葉もピンとこぼくはつた感じがあります。人生わすか五十才と云つた時代なら、いかに

今は十才は若くはつたと云われます。

新しく生まれ変わった気持ちで健康に注意し、毎日を大事に過ごしたいと思ふ。

◆ 下市 渡 敏昭

還暦の猪年を迎え、早も六十の坂を越えることになつたかと思ひ、依然緊張感をおぼえまゝだ。私の過去に強く残つてゐる言葉の中に、酒の場を離れたら、安易的言動とも思われたいが、百二十才まで生き抜く(理想的条件)が、この元は百三十才まで生き抜く(現実的命題)とよく豪語してゐた頃が、ありました。一昨年、脳卒中の倒れ、エッぱり健康の自信を失つてゐました。然し、最近、又、血の気が燃え、六十才の半ば、コロンコースに例えれば、折り返し点に足を踏み入れた感じに受けとめ

浴び、新年を披露しました。(ただし、猪突猛進とならぬ、う心掛けたら)

◆ 上市 田中静子

十二支という千支の用いられるようになったのは、おおよそ、千三百年前、奈良朝以前から依つてゐる。私は、これは、核といつて、不物の次代の種となる。私は向こう見ず、突進する(千支録)。私もこの亥年に生をうけ、六四目の年を迎え、せも、もらいす。私も次代の多五人を一心に子育てに邁進してまいりました。何と申しました。健康を大事にすることが最高です。残された人生を充分に、趣味に生き、足を動かして、家業に精出し、おけないう、老いの生をめでたいと希望を、持つております。もちつ、もたれつ、よろしく、お願い申し

◆ 上飯谷 武田芳勝

時才亥年生まれ、春を迎え、教育に就く一言。当時の小学校は尋常科六年、高等科二年、生徒数は尋常科百八十名、高等科四十五名、先生は高等科一人、尋常科四人。旧八代は生徒九十名、先生二人、教科は修身、算術、読本、算方、綴方、理科、工、地理、唱歌、図画、農業科、体操、兵式、体育、女子は裁縫、今日、目立つのは音楽です。当時、僅か、二百のオルカンがあるのみ、他の科目にしても、今日とは比較になりません。運動会は、都那郡西部七ヶ村、生徒数も、二十名以上、その後、四ヶ村連合運動会、心も盛大でありました。過去と現在、その差の大きさ、まざまざ感じました。

◆賀正

川上 岩田藤太郎
 園遊堂在り御多幸と御
 健在を心よりお祈り申し上
 げます。

思ひ出の一休和尚様の俳
 句「門松は異エの旅の一里
 塚 目出度も有り 目出度もな
 し。全くお浄土詣りの足の
 早々、お浄土の世界が目前
 に見えるようです。」

神仏の加護社会の支援に
 よりこの一里塚にゴールシ
 出来た事を深く感謝致して
 います。どうかお迎えに今
 年も息災に明るく暮し度
 念願する次第です。

合掌
 新玉の猪羊迎えて福寿草



◆成人式を迎えて

下飯谷 飯田徹
 八月二十三日を私は満二
 十歳に及びました。

この日から酒、たばこも
 許され結婚も本人同意の意
 志のみを認むるという年敵
 になりました。

二水らが許されるように
 なるという事は、自分自身
 分を責任を持つことコトロシ
 することが必要なる年に達し
 たということでは無いかと
 思っています。それゆえに、法
 にふれることをすれば、も
 う「青年A」ではすまな
 せん。そこまゝ責任が追求
 されるというところでしょう。

今、私は二十歳を迎えて、形
 だけの成人ではなく、中身
 のある成人となさうに心か
 けていきます。

◆柳田 谷口江津雄

今年、未成年者から成人
 を迎えたのですが、正直言
 った、実感のあいまいな
 感じが、二水からは何事でも
 両親に頼らず、自分自身で
 責任ある行動をとらなければ
 ならないのです。

単に成人になったらタバコや
 酒が飲めるようになる
 だけではないのです。これ
 から選挙権もあり、政治
 に参加できるのです。

今までの両親に育ってもら
 った事に感謝し、世間に負
 け出さない、立派な成人とし
 る環境があると考えられます。

◆冬の健康管理

医師 岡 平

そのためには、冬にありが
 ちな病にならぬようにする。
 鍛錬して寒さに強い体力
 を養う、しかし無理をしな
 外傷をしないの二つに限ら

れまうのです。

寒さと乾燥によつて血行
 は衰え、皮膚と粘膜はかわ
 き、細菌に對して弱体化し
 易い状態をおこし易く、す
 ぎた
 症(充血、分泌腺等)を
 みせる。こうした事は、ヒ
 シモヤテ、上気道炎(鼻
 咽喉炎)、凍傷を意味します。
 冷え性の婦人はひどく
 スピーツマンはスキーツ
 ト、アイスホッケー、冬山登
 り等の無理のため、骨折
 凍傷等の外傷も起す
 ます。

冬は流感の本番めいた
 季節です。新年挨拶迎
 りの小旅行のため、お
 の町の親戚からいただいた
 帰りの、お年玉替りにおす
 わけするといつた具合です。

そうかといつた泥鰌式に
 冬になつて、あわさりの木
 産物をやり、かえつた肺炎
 になりかけたといつた喜劇
 的なこともあります。

冬、健康は冬にやるはあ

りません。年間のけの計画
的に管理すべし。老人の
血圧上昇も冬にのみ注意
することありませぬ。

交通安全

安全会長 小笠原寛利

交通安全のお守れを多く
の身に見受けず。効能に
薄い願望を抱く人。又マス
コミ的に着けられている人も
多いことおぼしう。

カーブを対向車と当るか
と思ふ危い場面に、再三
三度は、遭遇します。

私の車が右側にハミ出て
いる時は、相手運転手の火
を噴くような眼光を一瞬感
じます。通過して、やれ危
かった。君、そう怒るなよ。
人間誰しもミスはあるもの
だよ」と私は内心ニンマリ
します。

対向車が突込んできた時は
コノ野郎と恐怖感、突
走りに死にハンドルを切ら

た後は、情熱の情の過着
き、心臓は米の高鳥ります
。皆エんは如何のすか？
何と人肉(私)得手勝手
なもの、反省します。
この得手勝手な私にも
守れの利益は、有つてほ
しいものゝすべし、エ。

俳句

あおき見る 武田若勝
君が手植の松高し
初見空 立野保雄
仰ぎてほう酔う情り道
行啓の 重元コト
明治は遠山初日影
ゆいゆいと 渡あや子
揺れいる松や初春
穂やかに 武田島子
袖おわす山初明り
白砂青松 尾野三枝子
石見の産の初産

おしらせ

あかちゃん誕生
おめでとうござります
本郷 山根恒人(男)
金子エ
山根勉君(男) 叶

一月の健全育成指標
この一年、計画をたてて
頑張ろう!!

高山会館ひろばの整備
兼ねて自治会や公民館で
陳情を続けられた高山会館
ひろばの整備が予算が認め
られ12月より着手。近々
完成の運びと取りました。
こうして柳工の施設の完備
されゆくことは喜ばしい
事です。



あとかぎ

館報ひろば大代も昭和五
十五年花田館長時代から
毎月欠かえず発行し、足か
け四年目を迎えました。統
けることは何事でも難しい
ことおぼす。然し、皆エんの
ご協力、ご支援とご理解の
賜と、編集部一同、一層張り
切りの新年をお届けしま
した。

館報を皆エん方が集れ
に得つて頂く館報。喜ん
読んで頂く館報。皆んな
参加して頂く館報。皆エん
に役立つ館報。大代に夢を
希望を導く館報を、目標と
して、一層の向上を計り度
いと思つております。今
後とも一段のご支援、ご協
力を願ひいたします。

(編集部)